



The service club to the YMCA  
 THE Y'S MEN'S CLUB OF  
**TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ  
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23  
 西宮 YMCA 内  
 Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988  
 宝塚ワイズメンズクラブ 2016年4月会報 第331

主 題 ・ 標 語

- 国際会長(IP) ウィチャン・ブーンマパシジョン (タイ)  
 主 題: " Mission with Faith "  
 「信念の有るミッション(使命・目的)」
- アジア地域会長(AP) エトワード ケータブリュー オンガ(シンガポール)  
 主 題: "Through Love Serve  
 「愛を持って奉仕をしよう」
- 西日本区理事(RD) 遠藤 通寛 (大阪泉北)  
 主 題: 「あなたならできる! きっとできる」  
 " You can do it! Yes, you can! "
- 標 語: 「-生きる しなやか さわやか-」  
 - Live flexibly and refreshingly -
- 六甲部長 進藤 啓介(神戸)  
 主 題: 「YMCAと共に」  
 《人を育み・地域に仕える》
- 宝塚クラブ会長 鯖尻 佳子  
 主 題: 「楽しい例会で素敵な交流の輪を広げましょう!」

今月のテーマ : YMCAサービス  
 ASF(アレキサンダー奨学金)

御心が行われますように、天におけるように  
 地の上にも。  
 (マタイ 6章 10節 b) [主の祈り④]

2016年4月例会

日 時 : 2016年4月13日(水)18:30  
 場 所 : 宝塚ホテル ゴールドの間  
 会 費 : 会員 3,100 円、会員外 3,500 円

ドライバー 多胡葉子 杉谷和代  
 開会点鐘 鯖尻 佳子会長  
 ワイズソング 全 員  
 聖書朗読 井上 聖  
 祈 禱 福田宏子  
 ゲスト・ビジター紹介  
 会長報告・委員会報告  
 会 食

お 話 細川 佐和子氏  
 「三輪山への鎮魂の歌～額田王～」

誕生日のお祝い  
 閉会点鐘 鯖尻 佳子会長

2015/16 役 員	会 長 鯖尻佳子 直前会長 杉谷和代 副会長 福田宏子、杉谷和代 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 今田和子 連絡主事 谷川 尚 六甲部メネット事業主査 福田 素子
事 業 委員長	Y M C Aサービス・ユース 福田 宏子 地域奉仕・環境 多胡 葉子 EMC 長尾 亘 交 流 石田由美子 ファンド 武田寿子 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 加藤光信 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	澤田 郁(4月23日)
3 月 実 績	例会出席者数 16名 在籍会員数 21名 出席会員数 13名 出席率 61.9% メイクアップ(内数) 0名 メネット 0名 コメント0名、ゲスト・ビジター3名
	B F ポイント 3月 4,461 円 累 計 32,836 円 にこにこBOX 3月 3,000 円 累 計 44,300 円 ファンド(物品販売) 0円 累 計 75,350 円

## 3月第1例会報告

昨日までの春の暖かさから冬に逆戻りの雨の 3 月 9 日(水)、宝塚クラブ 3 月第 1 例会が宝塚ホテル、ゴールドの間で持たれた。ゲスト 3 名を含めて 16 名、と言う少人数は珍しい。定刻、18:30、鯖尻佳子会長の開会点鐘。

今月のゲストスピーカーは、元小林聖心学院小学校副校長であり、アフガン孤児支援団体「ラーラ会」運営委員のシスター、藤松薫先生で、講演テーマは「アフガン孤児支援を手伝って」と言う興味深いものであった。

「ラーラ会」(ダリ語で国の花チューリップの意味)

は 2002 年にご友人の格子眞弓氏が初めてアフガニスタンを訪れ孤児たちの悲惨な現状に心を動かされ、見た者の責任を果たすべく設立された NGO である。現状を少しでも改善出来る事を願って

2005 年、ヘラートに孤児院を州政府に寄贈、その他学校、通学バス、食堂、トイレなど生活改善への支援

を続けて来られた。現地スタッフも雇える状態になったが、ウサマ・ビン・ラディンが殺害された後、外国と関係がある組織、国民に対してタリバンの大き



な弾圧が始まり現在活動は休止状態であるとの事。その中で現地スタッフも身の危険を感じた結果、ラーラ会が日本に受け入れて現在、難民申請や大学院への留学を支援している。

宝塚には長年アフガニスタンを支援されている「宝塚・アフガニスタン協会」の西垣敬子氏の存在があり私達にとっても全く知らない世界ではないが、余りにも違う国の現実を聞き大きな学びを得る事が出来た。

報告事項では、多胡葉子 CS 事業委員長が 3 月 11 日(金)、むこにゃん広場で開催する「揚がれ・希望の凧」の当日スケジュールを確認し、交流事業委員長、石田から西日本区大会登録の早期割引のお知らせがあった。又、5 月 21 日(土)開催のチャリティバザーへの取組み、協力要請が加藤光信バザー委員長からあった。

お誕生日お祝いの後、男性メンバーを代表して吉田明メンから「義理ではなく真実の愛」のホワイトデープレゼントが宝塚花組と女性ゲストにプレゼントされ、会長の閉会点鐘で終了。

石田由美子

## 3月第2例会報告

3 月 16 日(水) 18 時 30 分から宝塚市西公民館会議室にて 3 月第 2 例会が行われ、鯖尻会長、石田、加藤、多胡、武田、長尾、堀江、若林各メンが出席した。協議内容は次の通り。

### 1 ブリテン編集

長尾メンが提示の 4 月号編集案に基づき、寄稿分担を話し合い、編集日程等を確認した。

なお、ブリテン原稿の多くはメールを活用しているが、長尾メンの PC にはその他の数多くのメール情報が届くことから、長尾メン宅にブリテン専用アドレスを設け整理しやすくする。ブリテン専用アドレスは次の通り。

[wataru-ys@outlook.jp]

## 2 4月例会の運営

ゲストスピーカーに、宝塚在住、万葉集講座の人気講師、細川佐和子氏を迎える。

古代史に残る魅惑の女性歌人、額田王の華麗な人間関係や史実など、飛鳥のロマンをお話して頂く。交流担当によりチラシ作成。

## 3 チャリティーバザー

恒例のバザーは、5月21日(土)11~14時にカールチェヌーボ宝塚逆瀬川にて開催の予定で、加藤メン主導のもと、下記の役割を分担することになった。都合悪く若干名の欠席が見込まれるが、西宮Yリーダー及び有志の応援を得て、昨年と同様の成果を期待する。

売場	責任者	担当者
食べ物 コーナー	青柳	鯖尻、福田素子、森田紀子、 応援)石田聖子、川副トシ子、 山本真琴、リーダー
蚤の市 コーナー	多胡	杉谷、長尾、福田宏子、沢田 水谷、桑田、坂田、重松、 今西、今田、井上、
ステージ コーナー	Y坂田	Yリーダー 堀江、福田肇(商品保管)
会場設営		全員、リーダー
会計	吉田	

## 4 「揚がれ！希望の凧」実施報告

多胡メンより実施報告(別記参照)があり、武庫川がっこう、はんしん自立の家との共同開催を感謝した。

## 5 近隣各部の行事参加

3月19日 西宮クラブ主催、

東北支援チャリテイ・ジャズライブ

3月26日 大阪センテニアル・大阪なかのしまクラブ共同開催、ファミリーコンサート。

## 6 BF デリゲード来日

石田メンから、6月19~27日、チリ・サンティエゴからワイズが来日の予定。各部と協力して対応を検討する旨、報告があった。

若林 成幸

## 《プロフィール》

細川佐和子氏

福井県生まれ。福井大学文学部卒。30年前奈良から宝塚へ転居。それ以来市民のための文化講座を開催。中山台会館で10年以上続く万葉集講座は常に満員。

## 会長報告

3月12日、13日にかけて新大阪コンフェレンスセンターで行われた西日本区次期会長・主査研修会に若林次期会長と共に出席しました。一日目はクラブ会長と主査の役目、事務手続き、YMCAの歴史やキリスト教について学びました。2日目は長井慎吾次期六甲部部長のもと「楽しい交流とやりがいのある奉仕活動で更なるクラブ活性化を図ろう」という部長主題についての説明がありました。各クラブより継続的に実行している奉仕活動について紹介し合い、活動の活性化や新たな活動のきっかけ造りなど話が話し合われました。2017年に竣工する神戸YMCA新会館での新たな活動について



で語り合うYYフォーラムにしたいとも言われました。これまでに実施した印象深い交流会のエピソードを語り合い、メンバーの参加意識を高揚するような交流とは何かを意見交換する研究会を開催するとも言われました。来期に向けて次期部長の方針をお伺いし希望いっぱいの気持ちと共に来期も気持ち新たに頑張ろうと思いました。

鯖尻 佳子

## 3.11 東日本大震災支援 プロジェクト

### 揚がれ！希望の凧

東日本を襲った大震災から 5 年の月日が過ぎた。地震が引き起こした津波、そして原発事故。未だに復興が進まない状況が報道されて心が痛む。

2012 年 3 月 11 日の 1 周年を迎えた時から毎年追悼の凧揚げをして東日本の被災地の方々に思いを寄せて 5 年になる。

今年もはんしん自立の家、武庫川学校の 2 団体との共催でこのプロジェクトは実施された。

はんしん自立の家の入居者の方々、市内の福祉施設から、また親子で、と約 150 人の方々が集まった。今年もさざんか福祉会の方々が制作された和凧に参加者は思い思いの被災地の方々へのメッセージを込めた絵、文字を書き込んだ凧を大空に揚げた。この日は期せずして東北方面への風向き、そしてどの凧も高く高く舞い上がり、東日本に私たちの思いが届いていった。2 時 46 分には全員で 1 分間の黙祷をし、亡くなられた方々に思いをはせ追悼の時を持った。

その後ははんしん自立の家のロビーに移動し室内プログラムを実施。

はんしん自立の家で用意してくださった甘い美味しいおぜんざいを賞味しながら、福田素子メネットの軽妙な司会のもとプログラムは進んだ。はんしん自立の家で音楽療法をされている河村美帆先生のご指導のもと「ふるさと」をトーンチャイムの演奏による伴奏で合唱。そして宝塚市内で絵本の読み聞かせボランティアをされている倉本はるみさんが「ひまわりの丘」の絵本を朗読してくださった。この「ひま

わりの丘」の絵本は津波で大切なお子さん方を亡くされたお母様 8 人がお子さんを偲んで書かれた絵本です。その合間に大阪泉北クラブの猪瀬正雄メンが今年申年にちなんで猿の切り絵を披露してくださった。最後は宝塚クラブの石田由美子メン率いるコナミのフラチームのご指導のもとフラダンスに合わせて参加者一同「花は咲く」を歌い被災地の方々への「離れていても心は一つ」の思いを届ける一時間はあっという間にすぎ、終わりの言葉を主催者を代表し宝塚クラブの多胡葉子メンの挨拶で閉会となった。

ワイズ関係では宝塚クラブから 10 人、六甲部部長、メネット事業主任をはじめ西宮クラブ、神戸ポートクラブなどから約 10 人、神戸 YMC A・リーダー達が 4 人の参加であった。また、東北支援物資の販売もし、総売上 54,100 円を東日本の支援金として捧げることができた。はんしん自立の家のスタッフ、武庫川がっこのメンバーの方々のご協力を心から感謝します。

多胡 葉子

### 六甲部第2回評議会開催

3 月 5 日(土)2015/16 年度 第2回 六甲部評議会がホテル竹園芦屋にて開催され、宝塚クラブから 9 名が参加した。14 時、進藤六甲部部長の点鐘で開会が宣言され、Ys ソング斉唱、祈祷、開会挨拶の後、定足数確認(出席者 50 名 > 定足数 47 名)により会議の成立が宣言され、山口徹メン(六甲部書記)の司会により会議が進められた。

はじめに、六甲部活動中間報告、会計中間報告があった。会計に関し、一部の支出に疑義が出て課題を残したように思われた。続いて、各主査活動・各クラブ事業活動の中間報告が行われ、クラブ運営の工夫を垣間みることができる内容であった。

次いで、2016/17 年度 六甲部長 長井慎吾メン

(西宮クラブ)の方針説明を聞いた。部長主題「楽しい交流と、やりがいのある奉仕活動で更なるクラブ活性化

を図ろう」が示され、〈交流の楽しさ研究会〉の開催や各クラブの奉仕

活動を紹介)など、各クラブの活動内容の共有を図ろうとするプランが打ち出された。

次いで、2017/18年度次期六甲部長の選任の件が上程された。六甲部長の選任に関しては、「輪番制による選任ルール」が定着しているが、次期担当クラブから「辞退」の申し出があったとのこと。

これを受けて六甲部役員会は4回にわたって協議を行った結果として、評議会

においてルールを変更する旨の提案を行った。当該クラブ会長から事情説明と辞退表明があり、評決を行った。結果、僅差で役員会提案が承認されたが、重要案件であるが故に、別の打開策を求めるなど、慎重意見が出された。

会議は会計報告、次期部長選出問題の処理に時間がかかり、予定時間を超える審議となったが、進藤部長の閉会点鐘をもって終了した。

第2部は、評議会が長引いた分、短縮してパネルディスカッションが行われた。「神戸Y国際プログラムにおけるユースエンパワーメント」と題して、神戸Y職員の中道愛子さんがまとめ役となって、寺本紘菜(高校生)、岡田まりあ(高校生)、久野碧利(余島リーダー)、廣瀬献児

(Ys ユース委員)が自らの国際協力の体験活動を披露した。若者たち地球市民を意識して積極的に



活動する様子を知る機会となり、ワイズにとっても心地よい刺激剤となった。

第3部は、場所を移し懇親会となった。中道基夫牧師の食前感謝に続き乾杯、食事と懇談。各クラブのアピールも行われて楽しいひとときを過ごした。

19時30分、六甲部部長を初め三役のご苦勞、会場の世話をいただいた芦屋クラブに感謝し、再会を約して全てのスケジュールを終えることとなった。

若林 成幸

### 大阪土佐堀クラブ 65周年記念例会

春爛漫。4月2日(土)土佐堀クラブ例会が大阪城と満開のさくらに囲まれた KKR ホテル大阪で開催された。満開のさくら、気持ちの良いお天気をもたらす効果は90%が今日の記念例会は成功したも同然と土佐堀クラブの皆様はニコニコ顔で我々を迎えてくださった。

総勢204人(IBCクラブの韓国、台湾から41人)の参加のもと岩原会長の開会点鐘で始まった。第一部は～65年を振り返って～記念式典。第2部は記念講演。「今、関西で何が起きているか!」と題し関西経済同友会代表幹事の蔭山秀一氏が講演された。関西の活性化に向けて様々なプロジェクトが動いている。

IR(International Resort)の整備による経済効果、WMG(World Masters Game)のアジア初の大会開催、大学との連携による産業の活性化などなどが未来を見据えて具体的に動いている。関西はまだまだ捨てたものじゃない。と熱く語られました。関西圏のワイズにとって



も大いに考えさせられ、示唆を与えられた講演でとても興味深いものでした。

第3部は記念祝宴。今まで閉まっていた窓側のカーテンが一斉に開けられ～さあ！お花見だ！～

窓越しに大阪城を望み、その周辺のさくらを楽し



みながらの祝宴。お食事と歓談は賑やかな何時ものワイズの盛り上がり。改めて参加者全員の紹介、IBCクラブの代表者の挨拶。その挨拶代わりに韓国ワイズメネットがチマチョゴリを着て素晴らしい優雅な舞踊を披露され一同そのサプライズに釘付けになった。そしてアトラクションは河内音頭。朗々たる河内音頭の歌声に合わせて踊りが始まり客席を回って全員が引っ張り込まれ、ひと時河内音頭を楽しんだ。

実行委員長からの感謝の言葉のあと岩原会長の閉会点鐘で散会となった。



宝塚からは鯖尻、石田、堀江、長尾、杉谷、多胡の6人が参加。この機会を逃さずと5月の宝塚クラブのチャリティバザーのラッキー券を参加者の方々から200枚以上をお買い上げいただいた。帰りは鯖尻、堀江、長尾、多胡の4人は大阪城公園の満開の桜見物をして楽しみ家路に着いた。

多胡 葉子

## 東北支援チャリティー ジャズライブ

開場に入るとビールをはじめ色々なドリンクバーがしつらえてあって、すでに沢山の人がくつろいでおしゃべりを楽しんでおられる。



3月19日に春日野道の賀川記念館で夕6時半から行われた西宮ワイズメンズクラブ、メネット会主催のジャズライブ

は、なじみの場所にきたようなほっとした雰囲気が始まった。

久しぶりに聞くジャズライブだが次々聞いたことのある曲で、サクソの坂田雅枝さんは途中でボーカルの転ずる離れ業を最後まで演じて下さり、こちらもつい楽しくなってリズムにのって身体まで動いてしまった。

こんな楽しいライブを企画し、その収入の半分を西日本区メネット事業に、又半分をメネットのメンバー全員が携えて3月28日から東北各地を訪ねられた。震災以来ずっと東北を支えて来られた西宮クラブであっても、今回のメネットさん全員が心を一つにした静かな情熱が伝わった感動のひと時であった。まだ風の冷たい夜道を鯖尻会長と家路についた。

青柳 美知子

## 【今月のみ言葉】

御国の到来を願い求める祈りのあとには、最後の汝祈願である、御心の成就を願い求める祈りが続いています。「御心」とは神の思いのことですが、「御心が行われる」ことを願うこの祈りの真意はどこにあるのでしょうか。この祈りとの関連で、まず思い起こされるのが、主イエスのゲッセマネの祈りです。

ご自分の受難の運命をすでにご存じであった主イエスは、その祈りの中で、この杯を取り除けて下さいと一旦は神に願うのですが、その直後には思い直したかのように、「しかし、私が願うことではなく、御心に適うことが行われますように」(マコ 14:36)と、一切を神に委ねて歩いていく決意を新たにし、再び十字架への道を歩み始められるのです。その意味では、主イエスの十字架上での死が神の御心であったわけですが、それは究極的には私たちを救いへと導くものであったわけです。

もともと、争いと混乱で満ちた今日の世界の状況を思うとき、神の御心はいったいどこにあるのか、御心の成就を願うことに果たして意味があるのかという疑問も出てくるかもしれません。しかし、何より神の御心の成就を妨げているのは、私たち自身の傲慢な思いは御心に逆らい、神の思いに敵対的な態度を取ろうとします。その意味でも、「御心が行われる」ようにとの祈りの真意は、私たちが人間的な思いを断ち切って一切を神に委ねていく決断をなしていけるように願い求めることなのかもしれません。

嶺重 淑

## YMCA だより



主の復活のときを讃美します。  
新年度を迎え、保育園はまた新入園児の泣き声の合唱から始まる毎日を迎えています。でも桜が散るところから保育園を第二の生活の場として落ち着いていくのですが…。この1年も、子ども、家庭、地域にとって豊かな歩みができますよう、よろしくご支援ください。

### 1)「第8回神戸YMCA・コミュニカ学院日本語スピーチコンテスト」実施報告

3月2日、神戸YMCA日本語学科とコミュニカ学院の共催でスピーチコンテストを、行いました。これは

日本語学科の学習者が、日頃の学習の成果を発表する機会として毎年行っています。両校の代表が、それぞれの思いを日本語で伝える熱いスピーチを行いました。このスピーチコンテストには、ワイズメンズクラブ及びその他の団体から多くの協賛をいただいています。心より感謝いたします

### 2)神戸YMCAの新たな歩み

新たな年度を迎えるに際して、神戸YMCAではいくつかチャレンジを行います。

ひとつは神戸学園都市のこども園内において「児童発達支援事業おひさま」を開設します。つまりきがある乳幼児に対して療育を行う活動ですが、神戸YMCAでは三宮・西宮に続き3箇所目の開設となります。地域の支援が必要なこども・家庭に力とになれるよう応援ください。

また西宮地域にある2つの保育園(西宮YMCA保育園・西宮つとがわYMCA保育園)は、幼保連携型認定こども園となります。認定こども園になることにより、より地域の多くのこども、家庭を支えることを求められることとなりますが、YMCAの願いをより強く、より洗練して、新たな歩みをするを選びました。こちらもぜひ今後の歩みを応援してください。

### 3)神戸YMCA人事

第10代総主事就任2年目となる今年は内部も新たなチャレンジ、時代に合った組織になるようにいくつか職員にも動きがあります。

これまで神戸YMCAの歩みに大きな力を発揮してくださった尾上尚司さんですが、この春より社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会に転籍され事務局長として障がいのある方々の支援に奮闘されます。社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会は「はんしん自立の家」の運営団体でもあるので、皆さんとも様々な関わりを更に強められるのではとも期待します。

また西宮・宝塚地域の責任者として4年間活動を担ってきた宗行孝之介さんですが、4月より神戸YMCA本部で事務局長として更に重責を担います。これまでのかかわりに感謝を皆さんにお伝えくださ

いと承っています。なお、西宮・宝塚・三田地域については統括を三島浩司さん、実行責任を谷川が担うこととなりました。新たなスタッフを交え歩んでまいります。若干の若返りとなりますが、よろしくお支えください。

この地域においては、障がいがあるこどものキャンプへの参加機会を増やしたり、ユースリーダーの育成への新たな取り組みなど新たなチャレンジを開始します。皆さんにもお伝えさせていただきますが、ぜひ多くの方の応援をいただければと願っています。

新たな歩み、これまで同様ご支援いただけますようお願いいたします。

暖冬といいつつ寒さの追い込みはいつまで続くのやら。2月も終わりになってインフルエンザが流行ったりと子どもたちですが、保育園では子どもが休みになると保護者も大変です。そんな冬からいよいよ旅立ちの3月へ。保育園でも大きな成長をとげ小学校へと巣立つときがやってきました。保育園でできることはすべてしたつもりです。それぞれにより歩みがあるように後は祈りばかりです。